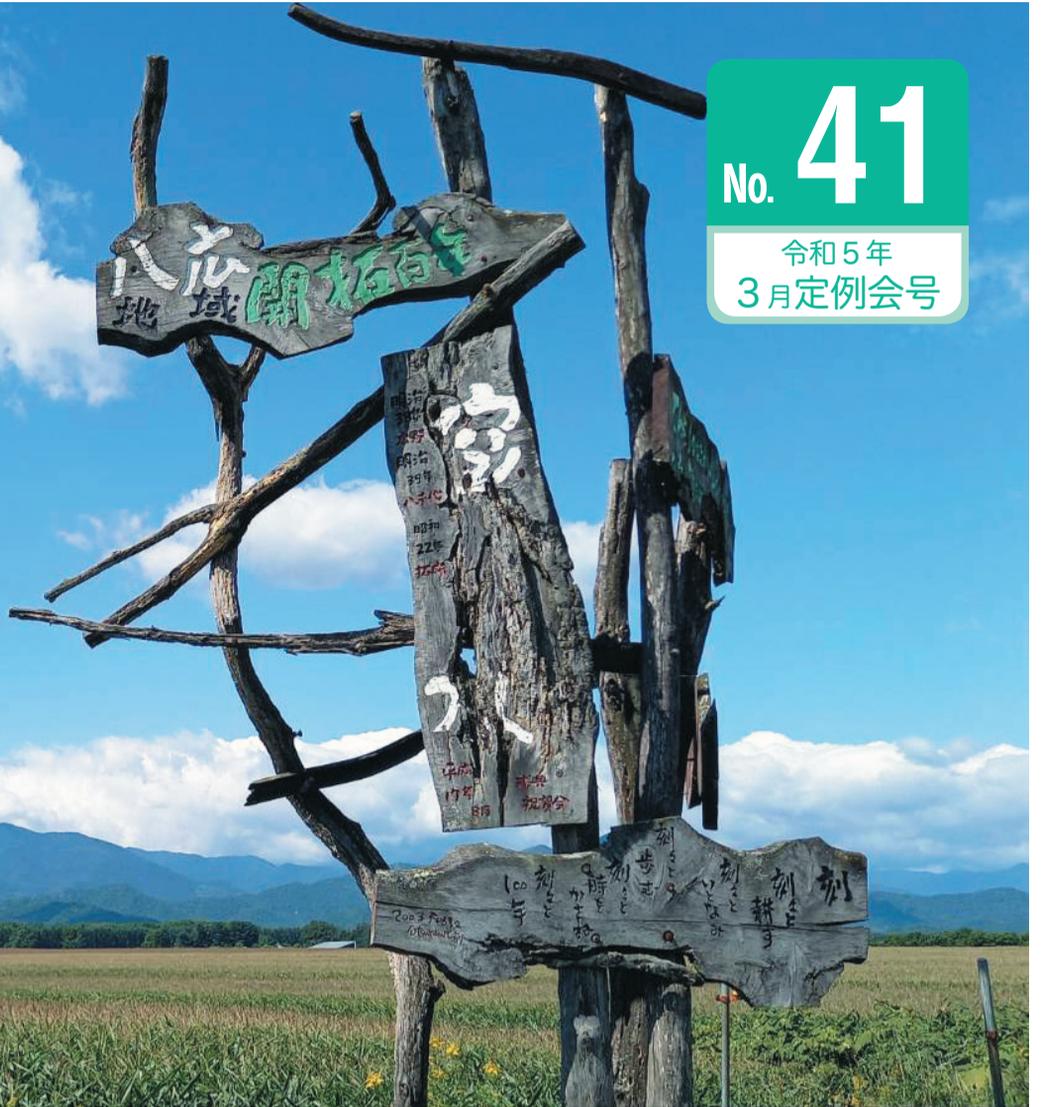


# おびひろ 市議会 だより

No. **41**  
令和5年  
3月定例会号



八広地域から望む日高山脈

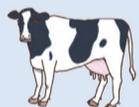
## 国内酪農の経営存続を求める意見書

### 要約

- 1 牛乳・乳製品などの消費拡大対策の一層の強化や新たな需要の創出、輸入枠の見直しを行い、需給改善に向けた一刻も早い対策を講ずること。
- 2 酪農経営の安定に向け、加工原料乳生産者補給金の引き上げなどを行うほか、流通・販売業者や消費者への理解醸成を図り、酪農畜産物の適正な価格形成が可能な環境を早急に整備すること。

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめたもので、国会や関係行政省庁などに送っています。

※意見書の全文は  
市議会のホームページを  
ご覧ください



—国会などへ意見書を提出—  
意見書を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。(左図参照)

令和5年第1回定例会を3月1日から3月28日までの28日間の会期で開催しました。  
令和5年度各会計予算をはじめ、令和4年度一般会計補正予算・条例の改正などを審議したほか、各党派の代表者6人が市長の市政執行方針に対する代表質問を、19人の議員が一般質問をそれぞれ行いました。

## 定例会の概要

## 新年度予算やコロナ対策関連予算などを審議・可決(3月定例会)

## 令和5年度予算 注目事業

### 1 ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち

#### 出産・子育て応援給付金の給付

妊婦、新生児1人につき5万円を給付するとともに、伴走型の相談支援を一体的に実施

#### 屈折検査機器の導入

弱視の早期発見および早期治療に向けた機器の導入

### 2 活力とにぎわいと挑戦があるまち

#### 事業創発の加速化

地域の創業・起業をめざす人材への支援体制を整備し、持続的な事業創出を実現するための仕組みを構築 など

#### 広域観光周遊の促進

観光誘客のため、十勝管内自治体と連携し、サイクルツーリズム推進に向けたコンテンツ開発などを実施



【サイクルツーリズムのイメージ】

### 3 ともに学び、輝く人を育むまち

#### ICT教育環境の整備

中学校におけるプログラミング教育を効果的に行うためのコンテンツを導入

#### 馬ふれあい舎の整備

十勝らしい家畜の展示とふれあい体験を充実するため、動物園に馬ふれあい舎を新築 など



【馬ふれあい舎のイメージ】

### 4 安全・安心で快適に暮らせるまち

#### 帯広少年院跡地の土地利用調査

緑ヶ丘公園一帯が魅力的で特色あるエリアになるよう、跡地の土地利用などに関する調査を実施

#### 救急・消防車両の更新

高規格救急自動車や水槽付消防ポンプ自動車などを更新

### 5 多様な主体が活躍する地域社会の形成・自治体経営の推進

#### 地域情報化の推進

自治体DXや地元企業のDX化を推進するほか、市民向けデジタルサービスの導入を検討

## コロナ対策関連補正予算(抜粋)

コロナワクチンの追加接種に向けた体制整備および接種の実施

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の生活支援として特別給付金を支給(対象児童1人につき5万円)

## 目次

定例会の概要	1
代表質問	2~3
一般質問、議案審査特別委員会の審査概要	4~5
予算審査特別委員会の審査概要など	6
本会議での討論など	7
常任委員会等の動き、お出かけ意見交換会の開催報告など	8

① ※ 本号では、新型コロナウイルス感染症のことを「コロナ」と略して表記しています。



清水 誠一 議員 (自民)



市長の政治姿勢と施策の基本的な方向、推進のあり方について

フードバレーとかち

基本理念は何か。また、3期12年間の具体的な成果を伺う。

食や農、自然など、この地域が有する豊かな資源や強みを最大限に生かし、誰もが幸せに暮らせる地域をめざすもの。創業・起業の促進や人材育成などを通して、新たな交流が生まれてきた他、市税収入の増加や新設会社数の増加につながってきている。

産業振興

東京事務所の位置づけや機能について伺う。

東京事務所は総合的な出先窓口であり、産業・経済・行政情報などの収集・提供や連絡調整を担っている。また、産業振興に関心のある大学生のUIJターンの接点づくりなどを行っている。

市の工業団地は完売となっているが、新たな工業団地造成の見通しは。

現在、用地確保について、検討をすすめている。

コロナ禍で商店街支援事業の実績は減少している。積極的に支援すべきと考えるが市の見解は。

補助制度などについて商店街関係者や事業者を直接訪問して利用を促進しており、今後も積極的な支援に努めていく。

平日昼間の歩行者通行量やまちなか居住者数は第3期中心市街地活性化基本計画の目標値に遠く及ばない現況。現実的な計画に

見直すべきだが考えを伺う。

計画の見直しについて、地域の状況などを踏まえ、国と協議しながら検討していく。

ばんえい競馬の運営体制強化に向けた考え方は。

明確な方向性の決定には至っていないが、さらに具体的な検討をすすめていきたいと考えており、地方競馬全国協会へ協力を依頼しているところ。

各種基金

高等教育整備基金など26の基金について、一度立ち止まって検証し、有効に基金を活用することが必要と考えるが、今後の取扱いについて伺う。

財政マネジメントの手段として有効に機能できるように全体のあり方を検証し考え方を示したい。

子どもの教育環境

国の制度改正により私立高校授業料の実質無償化世帯が拡大したが、なお保護者負担がある世帯の負担軽減を図る考えは。

教材教具の整備への補助など、現行の制度をしっかりとすすめていくことが重要と考えている。

福祉政策

発達障害の可能性がある子どもに対する市の取組み状況について伺う。

子育て世代包括支援センター機能の整備や各学校への特別支援学級の設置などをすすめてきている。

中学生まで医療費助成を拡大することであるが、高校生まで拡大する考えは。

財政負担や市民の声などを踏まえながら研究していく。



高橋 直義 議員 (立憲)



豊かな心を育む「デジタル田園都市おびひろ」をめざして

一、まちづくりの基本姿勢

これまでの取組みにより生まれてきた活力を最大限に生かし、多様な人々が生み出す知恵や発想、行動力を取り入れ、次世代利益につながる視点をもちながら、市民の暮らしにおける新しい価値づくりをすすめていく。まちづくりの様々な分野で、相互のつながりや相乗効果を模索しながら「フードバレーとかちNew Stage」、十勝・帯広の未来づくりに取り組む。

二、次の帯広の森50年構想

少年院跡地の土地利用は、緑ヶ丘公園の新たな価値づくりとも関連し、次の帯広の森づくり50年構想の一端を担うものと理解するが考えを伺う。

帯広市のみどりは日高山脈から河畔林や耕地防風林を経て帯広の森へとつながり、さらに河畔林や公園緑地、街路樹を通じて緑ヶ丘公園や中心市街地に広がっている。少年院跡地を含む緑ヶ丘公園周辺エリアは、市街地の中央に位置する立地や、みどりのつながりという観点から、今後のまちづくりを考えていく上で重要な場所と認識している。緑ヶ丘公園との相乗的な効果を発揮させながら少年院跡地の土地利用の検討をすすめるには、専門的で幅広い知見が求められるため、今後専門家を交

えた土地利用の可能性調査を行う考えである。

三、デジタル田園都市おびひろ

デジタル田園都市おびひろ構想と帯広圏デジタル推進ビジョンについて伺う。

デジタル技術の活用により、十勝・帯広において都市的な利便性を享受できる環境づくりをすすめる、地域の魅力や強みを生かした活力向上の可能性を広げていくことが「デジタル田園都市おびひろ」の基本的な考え方である。帯広圏デジタル推進ビジョンは一定の人口規模を有する生活圏で連携してデジタル化をすすめるものであり、「デジタル田園都市おびひろ」の中に含まれるものである。

提言

今の時代、デジタル化が光であるなら、陰はそれと引替えに変わってきた人間性である。「デジタル田園都市おびひろ」が便利さを追求する一方、豊かな心を育むことを目的にしたものであつてほしい。市長が掲げるみどり豊かな潤いと安らぎの空間を守り、育み、市民が、より日常的に森に親しみ、利用する環境づくりをめざす、次なる帯広の森50年構想の取組みに期待する。デジタル化に依存しきることなく、豊かな心が育まれるように、人が生きていくための水と食料と燃料が手に入る、この地域でしか実現できない「安心心のネットワーク」をつくり、活力にあふれ、持続性あるまちづくりに奮闘いただきたい。



大塚 徹 議員 (市政)



来年度予算は、まずは疲弊した市民の足元、アフターコロナを重視すべき

コロナで疲弊した市民の意向を踏まえた、市民協働のまちづくりや除雪、物価高騰対策など、市民生活に密着した予算については十分でない。市民の声をどう聞き、予算に反映させているのか。

令和5年度予算は、第七期総合計画の着実な推進を図りながら、コロナ後の新しい未来を見据えた種まきに取り組むことを基本的な考え方として編成した。編成過程では、これまでの取組みの検証や、各部との議論を通じて、市民や事業者の声を反映することに努めてきた。

LCCの就航や関西・九州・東北方面の定期便就航の早期実現に向けた市の考えについて伺う。

とかち帯広空港の運営者である北海道エアポート株式会社を中心となり、3大都市圏や東アジアへの路線就航、航空ネットワークの充実に向けて、道内自治体と歩調を合わせながら取組みをすすめている。特に中部国際空港や神戸空港と連携し、路線の通年化、新規就航に向けた航空会社との意見交換や共同プロモーションを検討しており、こうした取組みを通じて路線のさらなる充実につなげていきたい。

環境保全型農業で生産された農産物の使用や地産地消をすすめる、愛郷心を育てる「エシカル給食」の推進に向けた市の考えを伺う。

帯広市の学校給食では、有機・低農薬野菜を含めた地場産食材の優先調達を通して地産地消をすす

め、食べ残しなど食品ロスのリサイクルにも取り組んでおり、こうした取り組みは人や社会、環境に配慮した消費行動を意味する「エシカル消費」の考え方にもつながっている。

近年の帯広は1度に大雪が降る傾向が続いていると感じており、今までの除雪体制とは異なる相応の対策が必要と考えるが市長の見解を伺う。

大雪に際しては、特に円滑な除雪体制や効率的な除排雪が求められる。今後も協力企業との意見交換などを通じて冬季間の良好な道路環境の確保に向け、除雪体制づくりなどについて幅広く検討をすすめていく。

町内会の解散は、市民の安全・安心に大きく影響が及ぶと考えるが、市の認識について伺う。

町内会が解散した場合、災害時の支え合いや子ども・高齢者の見守りなどに支障が出る他、防犯灯の自主的な維持管理が難しくなり、地域の安全・安心に幅広く影響が及ぶものと考えている。

市は食や農業以外の分野の企業誘致についても、積極的に取り組む必要があるのでは。

北海道国立大学機構の発足により、他分野でも大学と地域との連携が促進されることを通じて、企業立地において十勝・帯広の優位性が高まることが期待されている。今後も国などの支援制度を活用しながら企業立地を促進し、地域の産業振興や雇用創出につなげていく。

炊煙起るといふ詩があるが、トップたる者は、いつも市民のかまどの煙を見据え、煙が出ていなければ憂い、100万の煙が出ていれば喜ぶ、そのようであってほしい。



大竹回武光 議員 (公明)



### 市長の政治姿勢について

**問** 令和5年度の市政執行方針では総合計画の体系に沿って各政策が示されたが、現状のコロナ禍やウクライナ情勢の影響を受ける中で、新年度の事業実施に向けた市長の所見ならびに決意を伺う。

**答** 市民が心身ともに健やかに、そしてより良く生きるためには、経済のみならず、環境・暮らしをつなげて考え、新しい価値を生み出していく事が重要になっていると考えます。これまで、地域資源を生かした新しい仕事づくりや魅力の発信に取り組んできたことで、人や投資を呼び込み、多くの挑戦が生まれるなど、地域の発展に向けた活力が高まってきていると感じています。こうした活力を生かし、市民や企業などとの協働により、様々な分野で相乗効果を模索しながら、公約の取組みをすすめて、第七期帯広市総合計画を着実に推進していくことで、十勝・帯広の持続的な発展につなげていく。

**問** 全国の自治体では、デジタルの恩恵を身近に実感してもらうために、職員の聞き取りやマイナンバーカードの活用などにより、自治体の窓口で申請書類を記入せず簡単に手続きが出来る「書かない窓口」が広がりをみせているが、これらを含めた市の今後の取組みの方向性は。

**答** デジタル化による、窓口で市民がより簡単かつ円滑に手続きができる「書かない窓口」は全国的にも大変評価されているところであり、学ばべき部分も多い取組みで



穂葉典昭 議員 (共産)



### すべての市民が幸せになれるまちづくりを

あると認識している。現在、一部の課において、窓口での本人確認を経て、住所や氏名などが印字された申請書などを出力するシステムを職員が開発するなど、試行的な取組みも行いながら手続きの簡素化に向けて検討をすすめている。

**問** 帯広市議会公明党は「物価高騰等に対する地方創生臨時交付金の取り扱いへの要望」を行ったすべての項目に対応してもらったことに、物価高騰対策への市長の本気度が伺えた。特に水道料金の4カ月免除は大変喜ばれており、給食費の負担軽減策も子育て世帯から称賛の声を多く聞く。そうした中で、現状ではさらなる物価高騰への影響が著しい状況であるが、市の現状や課題、今後の見通しにおける市の見解について伺う。

**答** 令和5年度当初予算では光熱水費や資材価格の高騰、労務単価の上昇などにより、経常的経費では前年度に比べ約4億2000万円増加しており、その財源確保として、市税や地方交付税の他、基金の活用などを図った。指定管理者への補填などに係る経費や、電力会社の電気料値上げなどについては補正予算での対応を想定している。物価高騰の先行きは見通せない状況であるが、引き続き国・北海道の動向や対策を注視し、限られた財源を有効に活用しながら、必要な対策を総合的に検討し、適時対応していく。

**問** 小中学校へのエアコン設置推進に向けた市の考えについて伺う。

**答** 道内他都市の動向を注視しながら、教育費全体の中で緊急性や優先度を考慮して引き続き検討していく。



原重明 議員 (開政)



### 市長の政治姿勢とまちづくりの基

**問** コロナ対策、後遺症相談窓口設置

**答** 道内のコロナ感染者数は、3年間で130万人を超え、死者は4000人超。感染者は3年目に初年度の70倍以上、死者は5倍以上に。十勝での昨年の感染者は7万3000人を超え、初年度の134倍と北海道全体の増え方の2倍近く。とちか広域消防の救急搬送困難事例数は、初年度の7倍と医療の逼迫が表れている。コロナの感染症分類を5類に引き下げるなどの国の新しい方針が示されているが、市の今後の対応について伺う。

**問** 医療提供体制などの強化について、北海道を通じて国に要望していくとともに、関係機関と連携を図りながら、市民の命と健康を守る取組みをすすめていく。また、保健所は保健医療体制の中核をなす重要な役割を担っており、引き続き国や北海道などに対して機能が効果的に発揮されるよう要望していく。

**提言** 後遺症に苦しむ市民のため、長期的な相談窓口の設置を求め、

**子育て負担の軽減施策で少子化対策促進を。給食費の無償化を**

と子育てしやすい環境をどう整えるかにかかっている。そのために今回拡充した子どもの医療費助成をさらに高校生まで引き上げることや給食費を無償化すべきと考え、市の認識を伺う。

**問** 医療費の無償化や対象年齢のさらなる拡充については、財政負担や市民の声などを踏まえながら引き続き研究していく。また、給食費の負担のあり方については国において財源を含め検討していく必要があるものと考えている。

**ゼロカーボン実現へ**

**問** ゼロカーボンの実現には、「2050年までに廃棄物分野における温室効果ガス排出をゼロにすることをめざす」ごみ行政への転換が必要。地球環境を守る温室効果ガスゼロに向けた市の今後の取組みについて伺う。

**答** 国内では、資源の循環利用に向けた様々な技術や取組みが進展している。今後も先進事例の情報収集を行い、資源の有効活用と廃棄物の適切な処理を着実にすすめて、温室効果ガスゼロの達成に向けて取り組んでいく考え。

**提言** 長らく続いた新自由主義的構造改革が、賃金が上がらない、成長できない、そして競争力のない日本経済にした。アフターコロナのまちづくりは、必要な公共を回復させ、一人ひとりの住民が主人公になれる「地域主権主義」すなわち「地方自治」をしつかり根付せかるまちづくりが必要。気候変動やゼロカーボンという視点を踏まえてこれからです。視点を変えて、まちづくりの仕組を検証すべき。

及動向などを注視し、導入の可能性を見極めていく必要がある。

**問** UIJターン推進に向けた今後の取組みについて伺う。

**答** 今後も十勝・帯広の様々な資源に興味を持つ人たちとの関係構築をすすめるながら、新たな活躍の場を求める人材を呼び込む。

**問** 子ども医療費助成制度の所得制限撤廃の考え方について伺う。

**答** 子育て世帯からの意見や、国の所得制限のない出産・子育て応援給付金創設の動きなどを総合的に勘案し判断した。

**問** 妊娠や出産、子育てにおける伴走型支援の現状と今後の取組みの考え方について伺う。

**問** 平成31年4月から子育て世帯包括支援センター機能を整備し、切れ目ない支援を実施している。今後必ずすべての妊婦・子育て家庭が安心して出産、子育てができる環境づくりに取り組む。

**問** 環境に配慮した農業の考え方と農村地域の活性化に向けた市の取組みについて伺う。

**答** 地域農業が将来にわたり発展していくためには、環境と調和した持続可能な生産体制を構築していく必要がある。また、農村地域の活性化のため、国の事業を活用しながら、地域資源の保全管理や質的向上を図るための共同活動を支援しており、今後も取組みを広げる。

**問** 有機農業に対する市の考え方について伺う。

**答** 有機農業の普及には省力技術の開発をはじめ、農業者の多くが取り組むことのできる技術体系の確立が必要。新たな技術開発や普

**問** 子ども医療費助成制度の所得制限撤廃の考え方について伺う。

**答** 子育て世帯からの意見や、国の所得制限のない出産・子育て応援給付金創設の動きなどを総合的に勘案し判断した。

**問** 妊娠や出産、子育てにおける伴走型支援の現状と今後の取組みの考え方について伺う。

**答** 子育て世帯からの意見や、国の所得制限のない出産・子育て応援給付金創設の動きなどを総合的に勘案し判断した。

**問** 令和5年度から国による学びの場の整備などを通じ、教育DXにつながる効果的な取組みをすすめていく。特別支援教育については、保護者などからの相談対応などを通じ、適切な学校への就学や学級への在籍につなげるなど、個別の教育的ニーズへの対応をすすめる。

**安全・安心で快適に暮らせるまち**

**問** 2050年ゼロカーボン実現に向けた考え方と再生可能エネルギー活用や分散型エネルギー社会構築に向けた考え方を伺う。

**答** 2050年ゼロカーボン実現を目標とする新たな計画を策定し市民や団体などと幅広く連携・協働しながら温室効果ガス排出削減に取り組む。また、計画に基づき再生可能エネルギーのさらなる導入促進を図り、エネルギーの自給率向上と自立分散化につなげる。

**問** 自治体DXへの外部人材活用についての見解を伺う。

**答** 自治体におけるデジタル化の推進には専門的なスキルや知見を持つ外部人材の活用が欠かせない。令和5年度からは国の制度を活用し、民間企業からデジタル人材の派遣を受ける予定。

**問** 自治体DXへの外部人材活用についての見解を伺う。



杉野 智美 議員 (共産)

市民の参加で暮らしやすいまちづくりを

【質】 コロナ禍と物価高騰で市民の暮らしは厳しさを増す中で、生活困窮者への食料支援の意義をどのように考えるか。

【答】 経済的な支援だけでなく、孤立や孤独を防ぐ機会になると捉えている。

【提言】 市ができることを市民とともに考える取組みを庁内横断的に行うべき。

【質】 18歳から32歳までの2万3179人分の名簿がデータで自衛隊に提供されていたが、どのように活用されるのか。

【答】 自衛官募集に関する事務に使用。チラシのポスティングを基本に、一部訪問による説明を行っている。データ提供される一人ひとりに通知することを求める。



鬼塚 英喜 議員 (自民)

未来に残す埋蔵文化財の調査・保全若者に夢と希望のあるスポーツを

【質】 市内の八千代A遺跡は有名であるが、その他に価値や希少性の高い、あるいはその可能性がある遺跡は確認されているのか。

【答】 隣接する八千代C遺跡に八千代A遺跡と同じ性格をもった文化財が埋蔵されている可能性はあると考えている。

【質】 スケートボードの練習場がほしいとの市民の声がある。全国的には河川敷や公園への設置が多いと思われるが、十勝川の「かわまちづくり」を活用して国に要望するなど、練習場設置の考えを伺う。

【答】 十勝川のかわまちづくりにおける計画によって設置が可能かどうか、国と協議していききたい。



木幡 裕之 議員 (自民)

市民を取り巻く環境について スポーツ振興について

【質】 環境モデル都市行動計画は令和5年度が最終年度となるが、終了後どのように取組みをすすめていくのか伺う。

【答】 令和6年度から新たな計画を策定し、市民や企業などと協働しながら温室効果ガス排出削減の取組みをすすめる。

【質】 コロナ後のスポーツ振興の考え方は。

【答】 市民がスポーツに関わる様々な機会を提供し、健康で心豊かに生き生きと暮らせるまちづくりにつなげていく。

【質】 コロナ禍で停止されていた学校開放事業が再開しているが、再開の条件は。

【答】 一般団体使用については、病床使用率が30%未満となった日が継続した場合に、その翌々週の月曜日より再開する。



林 佳奈子 議員 (自民)

新たな女性活躍推進を 空き家対策と流通

【質】 第3次男女共同参画プランの基本施策にある「女性の再チャレンジ支援」の取組みや効果について伺う。

【答】 創業・起業に関して言うと、昨年と比較し、女性参加者が5割を超えた。オンラインの活用や託児を始めたことで、小さな子どもがいる方が参加しやすい環境が整ったことなどが要因と考えている。

【提言】 女性の活躍推進に向け尽力を。

【質】 空き家の流通促進の考えは。

【答】 空き家の利活用促進に向け、十勝・帯広の宅建協会との連携をすすめている。所有者などの同意を得た上で、情報提供していく仕組みづくりを検討したい。



小椋 則幸 議員 (自民)

地域防災訓練 氷雪の家の現状と周辺整備

【質】 地域防災訓練を現行規模で実施した場合、市内全地域を網羅するのに何年かかるのか。

【答】 これまで実施してきた指定避難所は23か所、残りの指定避難所を毎年1か所ずつ開催するとした場合、28年かかる計算となる。

【質】 氷雪の家は動物園の北側に位置し、入園者の動線や園路などの整備状況が良好状態とは言えない。現状の認識を伺う。

【答】 かつてのエスキモー犬舎との展示効果を高めるため、隣接した場所での整備としたが、メインの通りから外れており、初めて来園される方には場所が分かりづらい面もあると認識している。



椎名 成 議員 (公明)

地域を守る物価高騰対策について

【質】 コロナ禍で何度も実施してきたプレミアム付商品券の効果について伺う。

【答】 厳しい経営のかじ取りを強いられ、飲食店の売上は、令和3年度よりプレミアム率40%の飲食店専用券を新設した効果も表れ、令和2年度と令和4年度を比較すると約7倍に増加した。

【提言】 今後もプレミアム付商品券事業を実施していくことを求める。

【質】 水道の基本料金免除は市民負担軽減に有効と考えるが、再度実施の考えは。

【答】 国の交付金の状況をはじめ、市民生活や地域経済への影響などを踏まえ、総合的に検討していく必要があると考えている。



佐々木勇一 議員 (市政)

コロナ「5類」で何が変わる？ バイオガスプラント建設加速へ！

【質】 国はコロナの感染症法上の位置づけを5月8日以降5類に引き下げる方針を示したが、政策や措置はどう変わるのか。

【答】 緊急事態宣言の発令や感染者に対する外出自粛要請などを定めた特別措置法の適用対象から外れ、原則インフルエンザなどの他の疾病と同様の対応を取ることになるものと認識している。

【質】 中断していたバイオガスプラントの建設が再開したが、バイオマス資源を活用した帯広市の畜産振興の考え方は。

【答】 送電網への接続が実現して売電が可能となり、プラント3基を建設中。今後バイオマス資源の利活用を促進し、地域循環型の畜産経営の確立に取り組む。



菊地 ルツ 議員 (立憲)

すべては子どもたちのために。多様な学びの場「ひろびろチョイス」設置と可能性

【質】 不登校の課題は時代とともに変化している。市の認識について伺う。

【答】 不登校やその傾向が見られる児童・生徒に新たな居場所、学びの場を提供し、心理的負担が少ない環境での人とのつながりから、社会的な自立をめざす。その結果、学校に復帰できる児童・生徒も増えていくことを期待している。

【質】 「ひろびろチョイス」の取組み内容、めざすものについて伺う。

【答】 藤丸の閉店が中心市街地活性化基本計画に及ぼす影響と対応の考えを伺う。

【質】 中心街の賑わいに影響が生じると捉えており、引き続き活性化に取り組む。

【質】 市有の未利用地に係る民間からの提案をどのように生かしていく考えか。

【答】 それぞれの土地活用の方向性や事業者公募などを検討する際の参考にした。



石橋 勝美 議員 (立憲)

市職員の働き方！ 森林を生かしたまちづくり！

【質】 業務効率化を図るため、RPAの導入をすすめているが、効果は。

【答】 令和4年度は12課32業務でRPAを活用し、2月までに約2500時間分の業務効率化につながった。

【質】 帯広の森づくりを始めて50年近くになるが、現時点での進捗状況と評価は。

【答】 帯広の森の樹木はおおむね順調に生育しているが、園路は全てのエリアを横断的につなぐまでには至っていない。利活用や植生の維持管理の面からも計画的な整備に取り組む必要がある。

【提言】 帯広の森50周年記念事業は森づくりの大きな節目。森林環境譲与税の活用などにより予算の確保をお願いしたい。



鈴木 正孝 議員 (無所属)

おびひろ動物園の展望、中心市街地活性化、市未利用地の活用

【質】 おびひろ動物園の展望を伺う。

【答】 令和5年度には馬ふれあい舎の整備のほか、来園者の休憩所や情報提供の場となるビクターセンターの整備を予定している。利用者ニーズなどを踏まえながら魅力アップに取り組む、だれもが楽しめる動物園づくりをすすめる。

【質】 藤丸の閉店が中心市街地活性化基本計画に及ぼす影響と対応の考えを伺う。

【答】 中心街の賑わいに影響が生じると捉えており、引き続き活性化に取り組む。

【質】 市有の未利用地に係る民間からの提案をどのように生かしていく考えか。

【答】 それぞれの土地活用の方向性や事業者公募などを検討する際の参考にした。



将来に向け地域別の戦略を示すべき！川西IC周辺の流通業務団地実現加速せよ！

【質】 まちづくりをすすめる上では地域の特性に合わせた構想が重要であり、将来展望を示すことが行政の使命。大正市街地の方向性を示すべきと考えるが見解は。

【答】 地域の実態を踏まえた柔軟な対応を図りながらコミュニティの維持・確保などを行うことはもとより、地域住民と課題を共有し、活性化に取り組みたい。

【質】 川西IC周辺の流通業務団地の実現に向けた課題や解決の取組みは。

【答】 川西IC周辺地域は、企業が立地するには農地転用に向けた手法の検討などが必要のため、十勝総合振興局とチーム会議を立ち上げ課題解決に向けた協議や先行事例調査などをすすめている。



廃止となる高等教育整備基金を活用し、地域経済の活性化を

【質】 高等教育整備基金の30億円について、例えば、これまで実施できなかった帯広市の負担に伴う国の補助事業などの財源に活用すれば、国の補助額や実施主体の負担額などと合わせて事業費全体としては何倍にもなり、地域経済活性化にもつても効果が高いと考えるが、市の見解を伺う。

【答】 財源や優先度の兼ね合いなどから実施できていない事業が数多くある。今後人口減少に伴う税収の減少が懸念され、また、新たな行政需要が見込まれる中、まずは基金全体のあり方を検証した上で、財源の活用の方について、令和5年度に示したいと考えている。



見えにくい保護者負担「隠れ教育費」の実態は

【質】 コロナ禍で子どもの貧困の深刻度が増す中、教育費が家計を圧迫している。見えにくい「隠れ教育費」の実態は。

【答】 あっせんも含め、学年別平均額で最も高いのは小学校では6年生で2万1000円。中学校では1年生で4万5000円。学校間で金額の差が最も大きい学年は、小学校は2年生で2.6倍、中学校は3年生で2.2倍。

【質】 学校間で差が生じている要因は。

【答】 金額の差が大きいのは小学2年生で国語辞典やドリル・ワークの購入費。中学3年生で卒業アルバム代や実習の材料費だが、一律に購入を求めないものもあり、単純には比較できないと捉えている。



障がい者が安心できるまちづくり、障害のあるお子さんへの市の取組み

【質】 視覚障がい者が安心して外出できるように、過去に駅前交通広場やかちプラザ前などにある灰色の誘導用ブロックを黄色に塗装したことがあるが、その後進捗が見られない。今後の予定は。

【答】 塗装の必要な箇所の把握や整備などの対応を検討したい。

【質】 医療的ケアを必要とするお子さんの就学における市の対応を伺う。

【答】 医療的ケア児等支援検討部会を設置して支援体制などについて協議をすすめており、学校生活についても教育委員会を交え協議などを行っているところ。



森林環境譲与税の使い道は？ 基盤整備事業は必要不可欠！

【質】 森林環境譲与税の活用について伺う。

【答】 森林環境譲与税を活用し、森林の現状を改めて把握するとともに、所有者の施策に対する支援や担い手の確保・育成、地域材の利用促進などをすすめている。

【質】 川西地区で行っているかんがい排水のモデル事業の検証結果は。

【答】 北海道が主体の令和3年度の調査で、かん水した区域は、していない区域に比べ長芋や秋まき小麦、てん菜において2割から3割程度の増収効果が確認された。



総合戦略(人口対策)は「地域力アップ」へ総合的に実行を

【質】 コロナ後を見据えたさらなる地域力アップに向け、どのように総合戦略を推進していくのか。

【答】 これまで総合戦略に基づき、創業・起業の支援や企業立地の促進などを通じて新たな仕事づくりの他、子育て支援体制の充実や仕事と家庭を両立できる環境づくり、教育支援や住環境の整備といった総合的な人口対策に取り組んできた。

【提言】 難しい問題にも総合的かつ着実に対応し、総合戦略を推進してもらいたい。



除雪対策について(除排雪)

【質】 幕別町依田にある市の雪捨て場が今年2月に閉鎖したが、理由とその後の対応について伺う。

【答】 令和4年度は、例年より排雪量が多く、受け入れ量に達したため、2月21日の朝に閉鎖し、それ以外の雪捨て場を利用してもらおうよう市のホームページやSNSで情報発信を行った。

【提言】 幕別町依田の雪捨て場には幕別町からの排雪も搬入されているとの話も聞く。搬入トラックの選別は難しいと思うが、幕別町への情報提供や意見交換などにより、適切な利用につなげてもらいたい。また、できる限り3月まで受け入れができるよう検討してもらいたい。



エネルギー価格高騰の今後の見通しについて

【質】 事業の運営において人件費と光熱費は固定費の大部分を占める。創エネや省エネに取り組むことでランニングコストが下がり、経営効果を上げることになる。市の再エネ導入にかかる補助制度は一般家庭向けであり、事業所は対象外だが、対象範囲を広げて事業所での導入も支援することが必要ではないか。

【答】 事業所においては、国の補助制度や市の融資制度など、様々な制度を活用することにより、再エネ、省エネ機器を導入することが可能と考えている。

【提言】 事業者への国の補助制度や市の融資制度をまとめた周知を。また、融資にあたっての要件緩和の検討を。



令和5年度から導入予定の「母子健康手帳アプリ」とは

【質】 母子健康手帳アプリを導入予定だが、これまでの紙の母子健康手帳はなくなるのか、運用方法について伺う。

【答】 母子健康手帳は母子の健康の記録であり、妊産婦本人のみならず、保健医療関係者と共有し、将来的に子どもに受け継いでいくもの。デジタル化においてもこうした機能が備わるまでは、現在の紙版を基本としながらアプリを運用していく考えである。

【提言】 母子健康手帳と妊婦一般健康診査受診票の大きさが違うため、手帳に挟んだりして持ち運ぶには不便である。些細なことかもしれないが、そういったところにこそ気配りをしてもらいたい。



生活交通路線の維持・確保 (3月2日審査)

○ 市民生活に必要な路線バスの維持・確保にあたり国や北海道と協力して、不採算路線に対して補助を行っている。引き続きバス事業者と連携して、運転手の確保や利用者の回復などに向けた取組みを一層すすめていくべき。





教材費の負担軽減

○ 保護者が購入している教材費に学校間格差が生じている。保護者負担のあり方も含め検討を行い、教育振興基金の活用も視野に負担軽減を図るべき。

審査7日目

自主財源の確保

○ 市税などの収納対策としてショートメッセージによる催告を行っており、一定の効果を得ていることだが、今後様々な手法で、継続して収納対策に取り組むべき。

組替えを求める動議・修正案の提出

○ 予算の組替えを求める動議と、帯広市個人情報保護に関する法律施行条例制定についての修正案が提出。

討論・採決

○ 5名が組替えを求める動議と修正案を除く全案件に賛成の立場で討論を実施。全案件が、全会一致もしくは賛成多数で、委員会として原案のとおり可決すべきものとすることを決定

原案に賛成

上野 庸介 議員（自民）

約3年におよぶコロナ禍であるが、今、長いトンネルを抜け出そうとしており、多くの市民はトンネルの先に見える光をめざし、徐々に「日常」を取り戻しつつある。しかし、国際情勢の悪化による原材料・エネルギー・物流コスト高騰、物価、特に生活必需品の価格の上昇は、市民の日常にとって脅威とも言える。各予算を確実に執行し、「誰もが幸せに暮らせる明るい未来」の実現に取り組むべき。

本会議での討論要旨

原案に反対（組替え動議に賛成）

稲葉 典昭 議員（共産）

コロナと物価高騰で市民の暮らしと中小企業の経営は厳しさを増している。消費税の転嫁をやめ、地域資源を活用する産業振興策により地域経済の土台をつくり、若者の結婚・子育て環境の充実を。子どもの貧困対策は喫緊の課題。焼却ごみの資源化を行えば、600億円規模の焼却場は必要なし。国保の子どもの均等割の免除、低所得者などへの水道料金の減免、水道料金収納業務の包括委託準備事業費削減などを求める組替動議に賛成。

原案に賛成

大林 愛慶 議員（立憲）

コロナ禍も3年が経過し、感染者数は減少傾向にあるが、決して油断できる状況ではない。また、ウクライナへの侵襲により世界の平和や食料安全保障などにおける懸念が現実となったと考える。令和5年度予算は子育て世帯支援、地域防災、インフラ整備、事業創発の加速など、地域を維持・活性化させる大切な予算と考える。安全・安心のネットワークをつくり、活力にあふれ持続性あるまちづくりに奮闘することを期待する。

原案に反対（修正案に賛成）

杉野 智美 議員（共産）

現行条例において、個人情報本人から直接収集し、目的外の利用や外部提供に制限をかけており、差別や偏見、基本的人権の侵害が生じないよう、収集を禁止する情報が定められている。デジタル社会だからこそ、憲法が定める基本的人権であるプライバシー権の強化が求められる。市民の安全を守るというのは自治体の使命。市民の基本的な人権の保障や市民の利益保護の観点から、少しでも改善できるように提案された修正案に賛成。

原案に賛成

西本 嘉伸 議員（市政）

マスク着用が個人の判断となった。市民も歓迎する一方で感染への不安や戸惑い、着用有無によるトラブルを心配する声もある。市民目線や市民感情とのずれをどう解消していくのか。物価高騰や地域コミュニティの崩壊などの問題に加え、近年の市民の大きな悩みは除雪対策。市民の声を聴き、柔軟に対応すべき。未来を見据えつつも予算執行には市民の足元にある悩みもしっかりと見つめてもらえと信じ、期待を込め賛成とする。

原案に賛成

大竹口武光 議員（公明）

この数年はコロナの流行や地球温暖化の進行、食料安全保障の懸念、エネルギー危機など、人々の安心・安全な暮らしや命を脅かす事態が生じてきた状況があり、様々な新しい問題が浮き彫りになってきた。高齢化による社会保障費の増大も待ったなしの課題である。全ての市民の幸せを中心に、安定した市政運営をさらにパワーアップさせ、誰もが幸せに暮らせる明るい未来に向けたまちづくりを求め、賛成討論とする。

原案に賛成

裨貴 秀次 議員（開政）

令和5年度各会計予算に賛成の立場で討論する。本予算は、米沢市政4期2年目の本格予算になるが、総合計画の体系に沿って市長公約や懸案事項などに幅広く目配りがなされた予算策定になっていることを評価する。しかしながら、財政硬直化の進行が顕著なため、市長の政策判断と財政運営の手腕が問われる1年になる。今議会であった様々な質疑や提言を令和5年度の市政執行に生かされるようお願いする。

賛否の分かれた議案など 賛成・・・○ 反対・・・× ※ 議長は議事に対し賛否を表明できません すべての案件については市議会ホームページで公開しています。



＜令和5年 第1回 帯広市議会 定例会 採決結果一覧表＞

自民…自由民主党帯広市議団 立憲…立憲民主・市民連合 市政…市政会 公明…公明党 共産…日本共産党帯広市議会議員団 開政…開政会

議員名等	議員名等																													議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
議案名等	石橋 勝美	佐々木直美	椎名 成	上野 庸介	林 佳奈子	小椋 則幸	鬼塚 英喜	大平 亮介	菊地 ルツ	大林 愛慶	清水 隆吉	今野 祐子	大和田三朗	木幡 裕之	石井 宏治	西本 嘉伸	杉野 智美	榎山 直義	鈴木 正孝	裨貴 秀次	清水 誠一	大竹口武光	大塚 徹	横山 明美	佐々木勇一	稲葉 典昭	鈴木 仁志	有城 正憲		
議案名等	立憲	立憲	公明	自民	自民	自民	自民	共産	立憲	立憲	開政	公明	自民	自民	自民	市政	共産	立憲	開政	自民	公明	市政	市政	市政	市政	共産	共産	議長		
議案名等	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	退席	×	×	×	×	○	×	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	退席	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		
議案名等	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	退席	×	×	×	×	○	×	議長		
議案名等	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長		

常任委員会等の動き 2月～4月

総務委員会

重点調査項目

地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行財政運営／地域防災

理事者報告

【2月】 今後の十勝・帯広における高等教育の取り組みの在り方（案）

付託案件

【令和4年陳情第2号】 帯広市名誉市民条例制定

厚生委員会

重点調査項目

保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

理事者報告

【2月】 帯広市公立保育所再編内容の見直し

質問通告

【2月】 ひきこもり等の複雑な相談対応／ひきこもりに係る居場所支援／生活保護の冬季加算の特別基準及び葬祭扶助

経済文教委員会

重点調査項目

農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

理事者報告

【2月】 第4次帯広市食育推進計画（案）／帯広市農業産出額（令和4年推計値）／西19条北工業団地の造成／十勝バイオマス産業都市構想の今後の取り扱い／帯広市自転車活用推進計画（案）／とかち帯広空港駐車場・構内道路整備基本計画及び基本設計

質問通告

【2月】 ばんえい競馬の運営／とかち帯広空港における運営委託事業のモニタリング／氷雪の家の現状と方向性

建設委員会

重点調査項目

都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上、下水道の維持管理

理事者報告

【2月】 帯広市地域公共交通計画（骨子案）／十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告

議会運営委員会

協議事項

議会運営検討項目／議会基本条例に基づく取り組み／令和5年第1回定例会の運営／その他



名誉市民条例制定を求める陳情が廃案

令和4年6月定例会において総務委員会に付託し、継続審査していた「令和4年陳情第2号 帯広市名誉市民条例制定について」は、第22次の議員任期満了日（令和5年4月30日）を迎えたことから、審議未了の廃案となりました。

議会トピックス お出かけ意見交換会 ～帯広南商業高等学校の皆さんと意見交換を行いました！～

帯広市議会では、若年層の市民の皆さんからのご意見を聴取するため、令和5年2月7日に帯広南商業高等学校に赴き、意見交換を行いました。

いただいたご意見などの要旨（一部抜粋）を掲載いたします。



- ・大学などの高等教育機関がもっとあれば、若者が地元に残れるのではないかな。
- ・アミューズメント施設や大型ショッピングモールなど、若者が遊べる施設を増やしてほしい。



- ・交差点に雪が高く積まれて危険であるため、除排雪をしっかりとしてほしい。
- ・バスの便数が少ないので増やしてほしい。
- ・芽室町は中学生まで医療費が無料だが、帯広市はどうか。



- ・とかちプラザなどの学習スペースが満員で使えないことがあるため、学習できる場所を確保してほしい。
- ・遊具を充実させることで、魅力的な公園ができるのではないかな。

- ・広小路のにぎわいを取り戻すため、広小路に行けば必要なものが何でもそろろうという状況にしてほしい。
- ・通学路が暗く、自転車などでの下校時に危険なため、街灯を増やしてほしい。

ホームページでも実施結果を掲載していますので、ご覧ください⇒



～令和5年6月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時		会議内容
6月	12日（初日）	13時～ 本会議
	16日、19～22日 ※16日は予備日	10時～ 一般質問
	23日	10時～ 議案審査特別委員会
	27日（最終日）	13時～ 本会議

※日程は予定であり、変更することがあります。

○ 開催中は会議を傍聴できるほか、議会の様子は、生放映と録画放映を行っておりますので、市議会ホームページからもご覧いただけます。



市議会  
ホームページ



インターネット  
映像配信

編集後記

第22次帯広市議会最後の市議会となりまして。今次では、「市、市議会および市民などが一丸となって食育に関する取り組みを推進し、市民が心身ともに健康で心豊かな生活を送れる社会の実現に寄与すること」を目的とした「食育推進条例」を議員提案で制定しました。次の第23次帯広市議会においても市議会議員一丸となって、市民にやさしいまちづくりをめざし精進してまいります。

（編集委員 鬼塚 英喜）